

■中国：石炭火力発電、卸電気料金を引上げ

2017年6月26日付の報道によると、国家発展改革委員会は7月1日から電気料金に付加されている企業構造調整資金を取り止めること、国家重大水利工事建設基金と大・中規模ダム建設に伴う立ち退き支援基金をそれぞれ減額して、石炭火力発電所の基準卸電気料金の引き上げの原資にすると発表した。卸電気料金の改定は一年半ぶりとなる。これは、近年経営が苦しい石炭火力発電会社には朗報である。省によって基金の額が違うため、卸電気料金の引き上げ額も全国一律ではない。引き上げ額の全国平均は0.01元（約0.17円）／kWhになる。引き上げ額の大きいのは河南省、陝西省、安徽省で、それぞれ0.01991元（約0.33円）／kWh、0.019876元（約0.33円）／kWh、0.018006元（約0.3円）／kWh、最も小さいのは青海省の0.001476元（約0.02円）／kWhである。